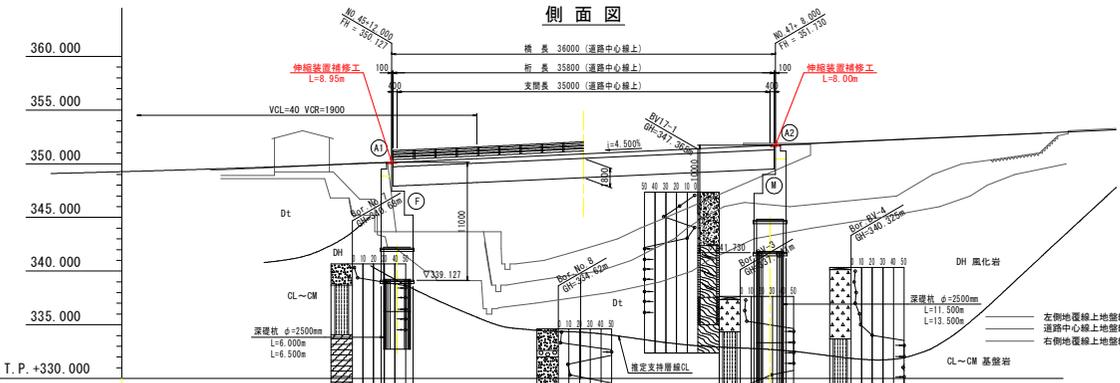
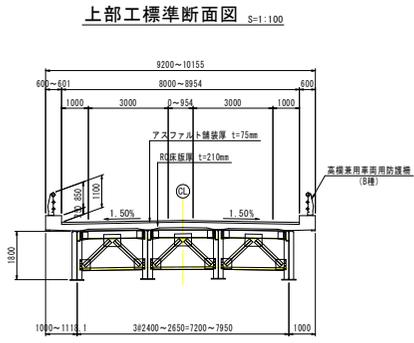
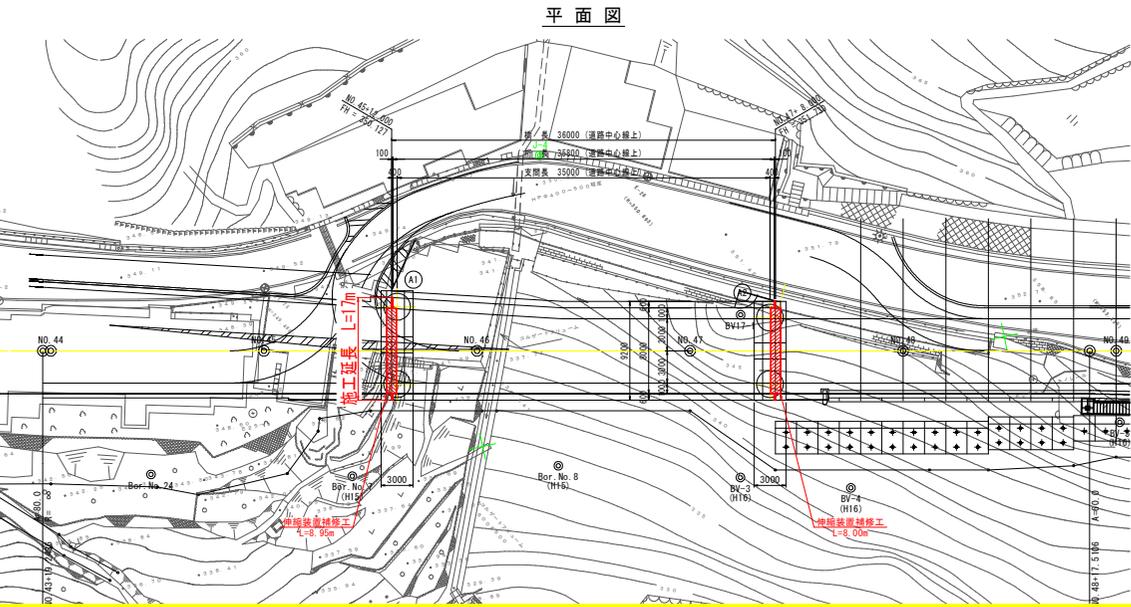


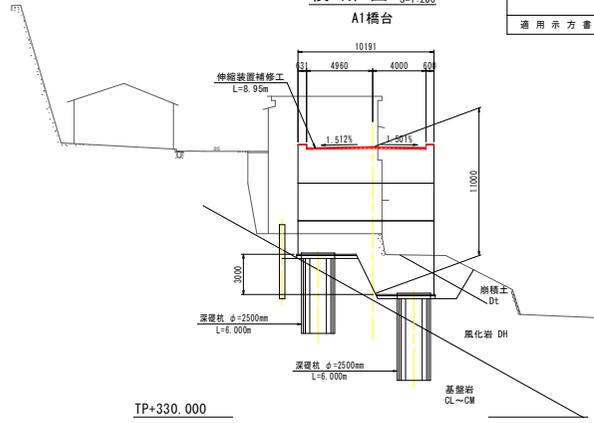
橋梁補修工一般図 S=1:250



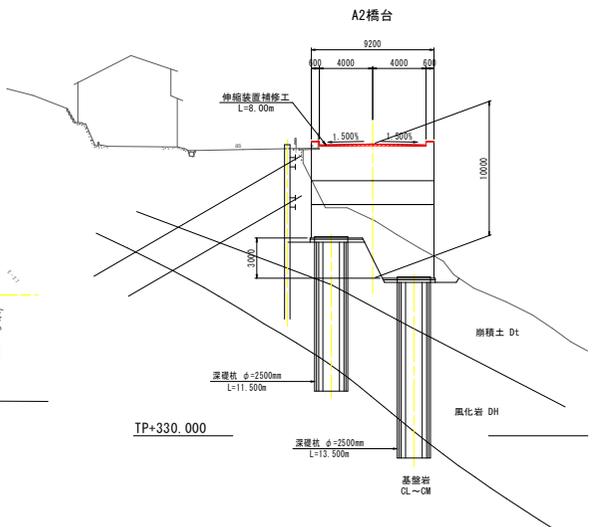
勾配	L=2.400m L=80.000		349.570		349.570		349.570		349.570		349.570	
計画高	348.697		349.675		350.127		350.470		351.370		357.720	
地盤高	348.697		349.675		350.127		350.470		351.370		357.720	
単距離	0.000		12.000		8.000		20.000		8.000		12.000	
測点名	No. 45		No. 46		No. 46		No. 47		No. 47		No. 48	
曲線	R=∞ L=98.262		R=∞ L=98.262		R=∞ L=98.262		R=∞ L=98.262		R=∞ L=98.262		R=∞ L=98.262	
片勾配すり付け	L=5.000		L=5.000		L=5.000		L=5.000		L=5.000		L=5.000	



横断面図 S=1:200



TP+330.000



TP+330.000

設計条件

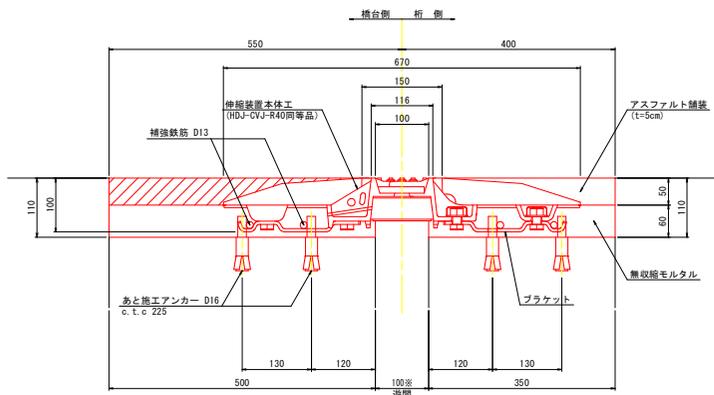
道路規格	第3種第3級 (設計速度 50km/h)	
荷重	B 活荷重	
橋長	36.000m	
桁長	35.800m	
支間長	35.000m	
有効幅員	8.000m~8.960m	斜角 90°
縦断勾配	2.400%~4.500%	
横断勾配	±1.5%	
平面線形	R = ∞	
形式	鋼骨鉄筋コンクリート橋	
上部工	コンクリート	$\sigma_{ca} = 30 \text{ N/mm}^2$
鋼材	SMA400W, SMA490W, SD345	
形式	逆T式橋台	
下部工	コンクリート	$\sigma_{ca} = 24 \text{ N/mm}^2$
鋼材	SD345	
形式	深礎杭基礎 (φ2500)	
コンクリート	$\sigma_{ca} = 24 \text{ N/mm}^2$	
鋼材	SD345	
重要度区分	B種	
地震種別	I種地震	
地域区分	B地域 (0.85)	
適用示方書	道路橋示方書・同解説 (平成14年3月)	

当初設計図面

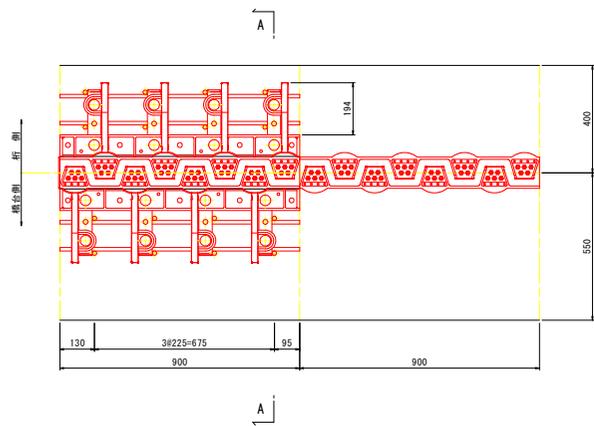
工事名	R7馬士 国道492号(川井4号橋) 栗・木原平川井 橋梁補修工事	
路線名等	一般国道492号(川井橋)	
工事箇所	美馬市木原平川井	
図面名	橋梁補修工一般図	
縮尺	1:100	図面番号 1 / 2
会社名		
事業者名	西部総合県民局県土整備部<美馬>	

伸縮装置取替工詳細図 S=1:5

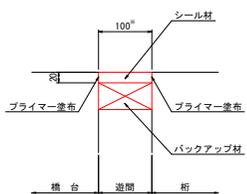
伸縮装置補修断面図
A-A断面



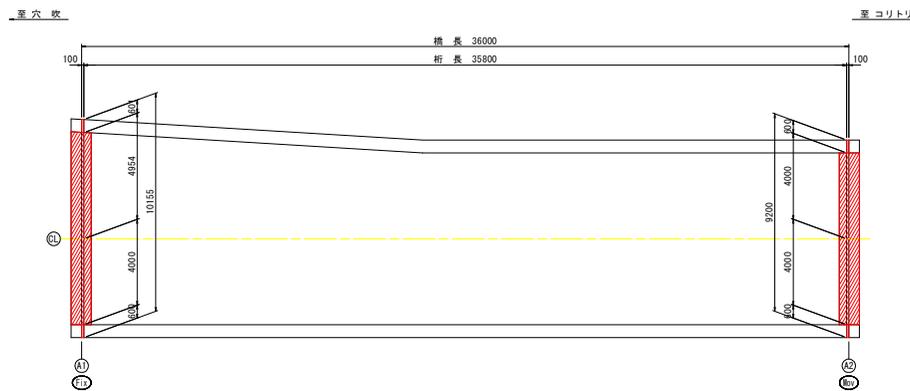
伸縮装置本体平面図 S=1:10



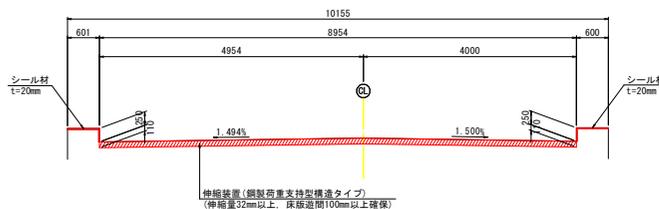
地覆部詳細図



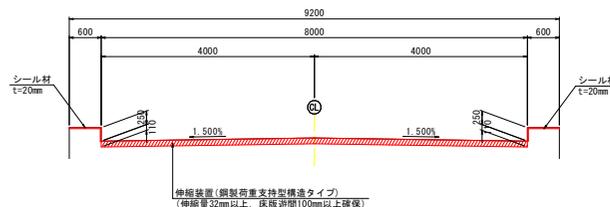
位置図 S=1:125



A1橋台側横断面図 S=1:50



A2橋台側横断面図 S=1:50



施工手順



数量表

名称	規格・寸法	単位	A1部数量	A2部数量	合計
荷重支持型鋼製伸縮装置	HDJ-CVJ-R40同等品	m	8.95	8.00	16.95
補強筋	D13	kg	35.62	31.84	67.46
あと施工アンカー	D16	本	160.0	144.0	304.0
シール材	変成シリコン系	L	3.40	3.40	6.80
無収縮モルタル	$\sigma_{ca}=24N/mm^2$	m ³	0.46	0.41	0.87
アスファルト舗装	t=5cm	m ²	7.46	6.67	14.13
既設伸縮装置撤去工		m	8.95	8.00	16.95

- 注記
1. 施工に際しては、路面高など現地確認・計測を行うこと。
 2. ※付寸法は、施工時温度等により変化する。
 3. あと施工アンカーは、既設アンカー筋が活用できる場合は、その鉄筋を利用すること。

当初設計図面

工事名	R7馬士 国道492号(川井4号橋) 栗・木屋平川井 橋梁修繕工事
路線名等	一般国道492号(川井橋)
工事箇所	美馬市木屋平川井
図面名	伸縮装置取替工詳細図
縮尺	図示 図面番号 2 / 2
会社名	
事業者名	西部総合県民県土整備部<美馬>